

令和5年度

南ヶ丘小だより

Newsletter from Minamigaoka

校訓 心をみがき 体をきたえ 夢を大きく

学校教育目標 郷土に誇りを持ち 未来を拓く

心豊かな子どもの育成 (合志中校区共通目標)

令和5年10月6日 第13号 文責 澤田

令和5年度 前期を終えます。ありがとうございました。

今年5月にコロナウイルス感染症が5類になり、4年ぶりに以前の活動を思い出しつつ行事が動き出しました。運動会や集団宿泊、校外学習も実施でき、子どもたちのきらきらした笑顔が見られるようになりました。しかし、未だにコロナウイルスは威力を失わず、インフルエンザまで季節を問わずに流行し、学級閉鎖をせざるを得ない状況もありました。文字通り「with コロナ」の日常が続いています。加えて「熱中症対策」！ これは今でも継続しています。

子どもたちは、マスク生活が長かったため、新学期に友達の顔と名前を覚えるのに苦労しました。制約が多くて遊び方も変化しました。学級になじむのに時間が必要な子どもがいますし、友達と遊ぶときのルールを忘れ、つい自分中心になってしまい反省する子どももいます。

私たち教職員の状況はというと、教員不足の現状はニュース等でご存知かと思いますが、本校も教職員が不足した状態で年度がスタートし、現在も不足は解消されていません。教職員もコロナウイルスに感染したり、家族が感染して出勤できなかつたりした時期がありました。

保護者の皆様も、お子さんの看病やご自身の体調等で大変でしたよね。医療従事者の皆さんをはじめ、どの業種の方もずっとご苦労をされています。子育てをしながらご苦労されています。

また、真夏日の朝も雨の日の朝も台風の前も子どもの登校見守りをしていただいた皆さん、大きな事故なく全員が無事に今日を迎えられました。子どもの少しの変化に気づき、学校に教えていただきました。泣いている子どもを学校まで連れてきてくださいました。ありがとうございました。

そこで改めて「みなさん、よくがんばりましたよね」、と伝えたいです。子どもから大人まで、誰一人努力しなかった人はいません。児童の皆さんも大人の皆さんも本当にお疲れ様でした。

明日からの5日間は、子どもたちは秋休みです。保護者の皆さんにおかれましては、また心配が増えるかも知れませんが、ぜひ、子どもたちに家庭での仕事をさせてください。子どもは家族の一員ですから、お手伝いをしなければいけません。将来の社会人を育てるために、今の年齢でできることをぜひ教えてください。「ゲームをさせておけば静かに過ごせるから」は大きな間違いです。子どもを親が一生面倒を見ることはできません。きょうだいの子守、炊事や洗濯、掃除、ゴミ捨てなど、大人になる前に身に付けさせておけば、必ず将来子どもから感謝されます。粘り強くご指導願います。学校教育へのご理解とご協力に心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

終業式に伝えたこと

最後に子どもたちに、「授業で学んだことを行動に移せる人になってほしい」と話しました。人として生きるために大切なことを学校で学んでいます。それが本当に身についたかどうか分かるのは、学校を一步出てからの行動です。道徳や人権学習、日頃担任に指導されていることを行動できるなら学習の成果と言えます。すぐにできないことも多いですが、行動できるよう心がけることが一番大切です。ことのはコンクールの優秀作品をみんなで読み合わせて、今日は心にとめてもらいました。

- その言葉 相手の心に ささってない？
- 悪い道 行くな 行くなと 友の声
- うそをついた「正直に生きる」って決めたのに ああ 正直って むずかしい

入賞おめでとう!



令和5年度菊池郡市科学展に4年生以上の31人(4年生2人、5年生16人、6年生13人)の作品が入賞しました。疑問を抱き研究するのは、とても楽しいことです。来年度もぜひ研究してください。